

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	白鷺電気工業株式会社	本社所在地	熊本県
業種	建設業	総従業員数	127名
事業概要	発電・変電所、送電線等の制御、保守、建設工事／屋内外の電気設備工事／情報通信・光通信・無線通信等の制御・保守・建設工事		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク勤務規程
テレワーク担当部署	人材DX室
テレワーク対象者	現場以外(本社・各支社)の全社員
実施者数	39名
平均実施日数	月4回以上8回未満程度(概ね週1~2回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 2020年4月、保育園へ登園できなくなった子供をもつ社員のためにテレワークを導入した。
- 2020年7月、新型コロナウイルスの影響に伴い、週1回程度の在宅勤務を開始した。
- 2021年1月、熊本県に緊急事態宣言が発令されたことで、週2~3回程度の在宅勤務を開始した。(出社率50%以下にするため)
- 以降、まん延防止等重点措置および緊急事態宣言発令中は週2~3回とし、状況が落ち着いたら週1回を繰り返している。

テレワークの概要・特徴

- シンクライアント方式を採用、仮想PCを30台準備。割り当ては、1:nとし、接続できない社員が極力いないように構築している。例:A部署8名に対して4台のPCを準備。ただし、A部署内で50%以下になるように調整が必要。
- 不意な切断等を把握できるように監視サーバを設置し、常に状態を確認。
- ファイルのコピーや印刷を制限し、情報が外に持ち出せないように設定。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 業務手続(ワークフロー)の電子化拡大やWeb請求書システムの新規導入を実現した。決裁を電子化することで、各拠点間の移動が軽減され、時間と交通費の削減や業務効率向上につながった。
- また、全社員に貸与している携帯端末に内線番号を付与したことで、かかってきた電話をそのまま外にいる社員につなぐことができ、折り返しの手間を防ぐことができるようになった。